

# 令和元年度 旭地区 わくわく事業 実践報告書

令和元年度は、12団体が、精力的な活動を展開しました！

事業名	団体名	主な活動場所
森は私たちを育て、いつかは田舎へ事業	あさひガキ大将養成委員会	旭地区全域
しきしまときめきプラン策定事業	しきしまときめきプラン策定委員会	敷島自治区
水車の里 つくば 環境整備事業	水車の里 つくば	旭地区全域
あさひの木を使おまい事業	旭もくもく会	旭地区全域
やさしい暮らしがにつながるプロジェクト事業	やさしい暮らし委員会	旭地区全域
竹林の環境整備事業	有間竹林愛護会	旭地区全域
地域減災啓発事業	旭GSボランティア	旭地区全域
地域情報誌シトルカン発行事業	シトルカン編集部	旭地区全域
林育推進事業	あさひ根っ子の会	旭地区全域
ヤギとわくわくプロジェクト事業	ヤギ飼いの会	旭地区全域
福祉農業実践プロジェクト事業	メグ友会	敷島自治区
地域性を活かした景観向上事業	ビューティー惣田会	惣田町地内

# 森は私たちを育て、いつかは田舎へ事業

団体名：あさひガキ大将養成委員会

代表者：安藤 征夫（会員数11名）

補助回数：5回目（R2 申請あり）

活動場所：旭地区全域



## 事業の目的

自然を体感し、その良さを感じる活動

## 今年度の活動内容

- ・田植え、稲刈り、野草観察、キャンプなどの自然体験を行った。
- ・ツリーハウスや遊具づくりを毎月行った。
- ・登山、薪割り、森の仕組み講座、小遣い稼ぎ、道具の使い方や地元を知る講座を地元の小学生の参加を得て行った。

## 事業効果

- ・子育ての親、小学生、園児などに生きる力を育む活動を周知、またこの活動が認知され、恵那市、猿投・萩野・明川町、安城市などで講演した。

## 補助金交付額と内訳（上限補助額）

**補助金交付額 1,000,000円**

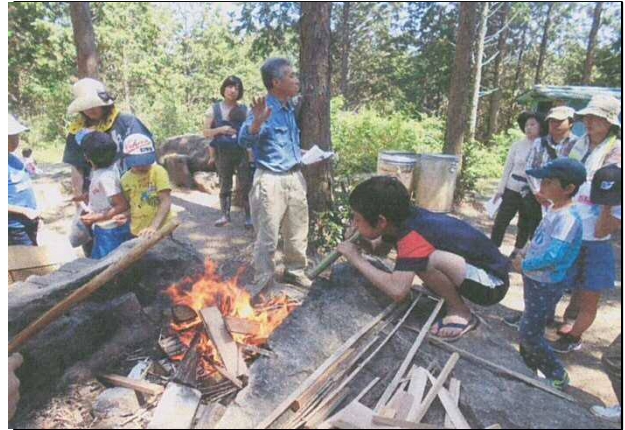
報償費（280,000円）、消耗品費（93,468円）、燃料費（39,313円）、通信運搬費（99,610円）、手数料（35,000円）、使用料（7,000円）、原材料費（445,708円）



# 私たちは森を育て、いつかは田舎へ事業 活動状況



身近な野草を覚えながら食べよう



火や道具の使い方を学ぶ



お須原山で 50 人のキャンプ



子どもの力で子供の家造り



間伐材が薪になるまでを学ぶ



安藤さんありがとうございました

# しきしまときめきプラン策定事業

団体名：しきしまときめきプラン策定委員会

代表者：鈴木 辰吉（会員数17名）

補助回数：2回目（R2 申請なし）

活動場所：敷島自治区



## 事業の目的

敷島自治区の「しきしまときめきプラン 2020」の策定を通じて、取組みの継続と移住者増加など新たな地域課題を洗い出し、山村地域における活性化推進モデルを創ることを目的とする。

## 今年度の活動内容

- ①「私と家族の将来像調査」による10年後の地域の姿の見える化
- ②講演会および公開討論会の開催
- ③先進事例調査、策定員会の開催
- ④「しきしまときめきプラン2020」の策定
- ⑤新「しきしま暮らしの作法」策定

## 事業効果

8回にわたる策定委員会、全戸対象のアンケート、素案に対する意見募集、講演会・公開討論会を踏まえて策定した「しきしまときめきプラン」案を自治区総会において承認した。

計画書及び「しきしま暮らしの作法」を全戸配布し、まちづくりの機運を高めた。

## 補助金交付額と内訳（補助率10割）

補助金交付額 690,000円

報償費（70,000円）、消耗品費（20,165円）、食料費（11,559円）、

印刷製本費（286,370円）、委託料（299,916円）



# しきしまときめきプラン策定事業 活動状況



6/12 第2回策定委員会



7/11 アンケート発送作業



12/7 講演会・公開討論会



12/7 講演会・公開討論会



1/11 自治区総務会へ最終案報告

# 水車の里 つくば 環境整備事業

**団体名：**水車の里 つくば  
**代表者：**松嶋 利光（会員数6名）  
**補助回数：**1回目  
**活動場所：**旭地区全域



## 事業の目的

平成 23 年度から 26 年度まで水車小屋周辺整備及び発電水車設置、売電用への水車バージョンアップ等を実施しました。現在は川の水が確保できている場合は順調に発電でき、売電収入も発生しています。

今回は、これらの施設を見学に来てくれる子供たちが安全に散策できるように川との境部分及び米搗き水車周辺の安全のための柵を設置するものです。

## 今年度の活動内容

池と川との境及び水車小屋と川との境等に木杭合計 44 本を打ち込み、それぞれをロープで結び、安全な境界柵を作りました。

## 事業効果

木製杭とロープによる柵の設置ということで強度的には少し弱いかと思われませんが、危険な場所に立ち入らないようにとの注意喚起になると思われます。より多くの皆さんが水車や発電の様子を見に来ていただけることを期待しています。

## 補助金交付額と内訳（補助率 10 割）

**補助金交付額 105,000円**

消耗品費（17,802円）、食料費（9,600円）、原材料費（78,204円）



## 水車の里 つくば 環境整備業 活動状況



杭の配置



杭打ち開始



ロープ張り



水車周りの準備



水車周りのロープ張り



完成

# あさひの木を使おまい事業

団体名：旭もくもく会

代表者：鈴木 章民（会員数8名）

補助回数：1回目（R2 申請あり）

活動場所：旭地区全域



## 事業の目的

旭産木材のPRによる地域産材の有効活用と間伐の推進による森林環境の健全化

## 今年度の活動内容

旭の観光の玄関でもある旭観光協会(旭農林会館)の木質化を実施した。

- ・農林会館市民広場の壁1面（約20m）に杉と檜板を張り付け
- ・駐車場壁面（約32m）に杉板を張り付け
- ・愛知学泉大学による木材利用提案

- |                                  |                  |
|----------------------------------|------------------|
| ①大型フォトフレーム                       | ②サインボード          |
| ③箒アート                            | ④入浴剤             |
| ⑤アロマオイル                          | ⑥おもちゃ（檜のお風呂おもちゃ） |
| ⑦防腐剤・虫よけ                         |                  |
| ⑧木を食べる（おがくずドーナツ・ウッドクッキー・おがくずティー） |                  |

## 事業効果

多数の人が目にし、触れられる場所の木質化により旭の木材の良さ（暖かさ、リラックス効果など）を感じてもらえる場所ができた。また、丸太から加工までを地域内で循環利用する流れができ地域活性化が図れた。

## 補助金交付額と内訳（補助率10割）

**補助金交付額 351,000円**

報償費（78,728円）、消耗品費（57,674円）、保険料（2,250円）、食料費（6,196円）、手数料（156,306円）、原材料費（46,846円）



# あさひの木を使おまい事業 活動状況



# やさしい暮らしがつながるプロジェクト事業

団体名：やさしい暮らし委員会  
代表者：戸田 友介（会員数7名）  
補助回数：4回目（R2 申請あり）  
活動場所：旭地区全域



## 事業の目的

私たちの「旭」には、自然や文化、暮らし方や生き方、まちづくりの取り組みなど、大切に引き継ぎ、受け渡していきたい事柄が数多くあります。これら「コト」「モノ」「ヒト」が出会い、みんなで再認識することで、新たなまちづくりにつながる関係性を生み出すと共に、We Love あさひの機運を醸成することを目的とします。

## 今年度の活動内容

月歴「あさひごよみ」の作成と配布

## 事業効果

学校、交流館、ぬくもりの里、観光、地域行事、防災、他団体などのスケジュールなど例年より盛り込む情報も増え、より広く地域で活用されるツールとして浸透していると思う。

## 補助金交付額と内訳（補助率9割）

**補助金交付額 97,000円**  
印刷製本費（72,000円）、手数料（25,402円）



# やさしい暮らしがつながるプロジェクト 活動状況

平成31年度わくわく事業

## 旬の月鑑

# あさひごよみ

やさしい暮らし委員会

旭交流館やぬくもりの里など地域コミュニティの拠点と協力しながら、子どもからお年寄りまで、世代間、地域間を超えて、旭全体の多くの人たちが継続的に関わりあえる仕組みづくり、ツールづくりを行います。



2020年4月号は原画もぬくもりの里の利用者さんが担いました！

# 竹林の環境整備事業

団体名：有間竹林愛護会

代表者：原田 茂男（会員数34名）

補助回数：5回目（R2 申請あり）

活動場所：旭地区全域



## 事業の目的

有間町竹の下地内の竹林を整備し、矢作川河畔の景観を整えると共に河畔の散策ができる遊歩道の敷設により地域住民および来町者に安らぎを与える癒しの場とする。

## 今年度の活動内容

- ・川原及び竹林内の雑草木や子竹の除去
- ・枯竹や密集竹の間伐、搬出除去
- ・竹林内の進入路の改善工事
- ・交流活動＝こども園児たけのご掘り体験、川原での懇親会
- ・竹林内の遊歩道・案内看板の設置案作り
- ・ボランティア学生（愛知学泉大学生・愛知工業大学生・企業ボランティア）の受入れ

## 事業効果

計画に沿って枯竹や密集竹の伐採、河川敷の除草に力を入れた。作業には、ボランティアとして愛知学泉大学、愛知工業大学の学生・職員、大和ハウス工業(株)の社員等の協力を得た。

さらに豊田市職員にもパートナーシップ研修として参加していただいた。おかげで、計画した予定地の全てで作業を終了することができた。

作業実績として、会員出役年間12回、平均8名、延べ人数107名。ボランティア等出役年間8回、延べ人数109名で、出役総人数216名でした。また、竹林への進入路の拡幅により、車の通行が容易になり、作業効率が高まった。

## 補助金交付額と内訳（補助率9割）

**補助金交付額 280,000円**

消耗品費（63,901円）、燃料費（8,270円）、修繕費（17,827円）、保険料（9,000円）、使用料（27,000円）、工事費（154,440円）



## 竹林の環境整備事業 活動状況



愛知学泉大生・職員による間伐作業



草刈り作業



施肥と進入路拡張工事の事前準備作業



間伐材の処理作業



# 地域減災啓発事業

団体名：旭GSボランティア

代表者：安藤 福平（会員数40名）

補助回数：4回目（R2 申請あり）

活動場所：旭地区全域



## 事業の目的

大地震・風水害が多発する中、旭地域においてもいつ被災するかわからない昨今、また、高齢化や過疎化が進む中「自分の命は自分で守る」ことの住民への意識付けと平常時に旭地域住民への減災知識啓発を行うことで、発災時での被害を減らすことを目的とし活動する。

## 今年度の活動内容

- ・地域行事やイベント（あさひまつり・ぬくもり祭・地域ふれあいサロン・防災訓練など）での啓発活動を継続するとともに、関係機関（自治区・市役所・ぬくもりの里・交流館）との連携を更に拡充する。
- ・飛散防止フィルム貼り講習会・減災講演会等を企画開催し、地域住民の防災、減災に対する意識の高揚を図る。
- ・減災啓発情報紙&グループ活動に関してのたより発行

## 事業効果

平成27年から約7年活動し、少しずつではあるが減災意識の啓発が推進できたと認識している。いつ災害が発生しても不思議でない世の中、地域住民が被災しないように、知識の向上と啓発を通じて、顔の見える関係づくりに努めた。

## 補助金交付額と内訳（補助率9割）

**補助金交付額 150,000円**

報償費（27,000円）、保険料（11,655円）、通信運搬費（4,536円）、使用料（3,676円）、消耗品費（17,903円）、備品購入費（80,676円）



# 地域減災啓発事業 活動状況



小渡小学校減災学習会（避難訓練・災害グッズ作成・炊き出し訓練）



減災啓発視察研修会（愛知県消防学校）



旭フェスタ（割れたガラスの上走行体験）



飛散防止フィルム貼り・家具転倒防止



飛散防止フィルムの破壊実験

# 地域情報誌シットルカン発行事業

**団体名：**シットルカン編集部  
**代表者：**木浦 幸加（会員数 5名）  
**補助回数：**2回目（R2 申請なし）  
**活動場所：**旭地区全域



## 事業の目的

これまでメディアに取り上げられていない旭地区の、人・コト・モノにフォーカスして情報発信する。

地域の魅力を再発見して、地域のために活動したいと思い始めた住民が動きだす後押しをする。

## 今年度の活動内容

- 市民活動講座「コミュニティデザインから学ぶ私たちが主役の地域づくり実践研修」を開催し、14名の参加者があった。（7月28日）
- シットルカン第13号を発行した。（10月）
- 地域づくり講演会「地域プランディング講演会」を旭商工会青年部と共催した。（2月25日）
- シットルカン第14号を発行した。（2月）

## 事業効果

○シットルカン発行について

第13号では、川の特集をしました。旭の方たちが、どのように川と関わり、楽しんでいるかをインタビューし、川に親しむ環境の素晴らしさを周知できと思います。第14号では、移住者の参加が著しい東萩平町の特集をしました。一人の力ではなく、移住できる環境が東萩平町にあることを発見できました。旭地区内に配布し、風通しのよい地域づくりが大切だということに気が付いてもらえるのではないかと自負しています。

○市民活動講座では、地域づくりに大切なのは相手の意見を尊重し、お互いに対立するのではなく、アイデアを高め合うことだと学ぶことができました。

## 補助金交付額と内訳（補助率10割）

**補助金交付額 192,000円**

報償費(90,000円)、旅費(5,162円)、消耗品費(15,467円)、通信運搬費(664円)  
印刷製本費(76,285円)、手数料(2,406円)、使用料(2,700円)



# 地域情報誌シットルカン発行事業 活動状況

令和元年度わくわく事業

ガチだよ!!

## コミュニティデザインから学ぶ 私たちが主役の地域づくり実践研修

地域づくり担い手の育て方・地域づくり活動の輪のひろげ方

「私たちの地域って、知らなかった魅力が本当にいっぱい！」地域情報誌シットルカンの発行をおして私たちはいつもそう感じています。しかし、変化し続ける時代や社会に合わせて、私たちの地域も変わり続けなければなりません。そして、ふるさと旭の未来は、私たち住民一人ひとりが力を合わせてつくっていくもの。だからこそ、もっと旭のみんなと一緒に学び、いろいろな人たちとつながり、さらにステキな旭を目指したい。

今回は、地域づくり活動団体向けに、コミュニティデザインの手法を用いて楽しい参加の場や組織を企画運営し、地域づくりの仲間を増やし活動の輪をひろげるための実践研修を開催します。



コミュニティデザイナー  
講師 studio-L 西上ありさ氏

(株) studio-L 東京事務所所長。1979年北海道生まれ。早稲田大学公共経営大学院修了。公共経営修士(専門職)。studio-Lの創立メンバー。

2007年から2012年にかけて海士町のまちづくりに携わる。現在は、地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインの実践に国内外で取り組む。主な仕事に、住民参加による総合計画の策定、集落診断・集落支援、病院づくり、美術館づくり、地域包括ケア、毎日を楽しむ Co-minkan 活動などがある。

2019年 7/28(日) 18:00(受付開始 17:45) ~20:00

会場：つくラッセル・会議室 (豊田市旭八幡町堂山 432-3)  
対象：わくわく事業活動団体・まちづくり活動団体、自治体、自治区や町内会など地域づくりに関わる団体、教育・福祉関係者、そのほか旭のために何かしたい団体！

定員：5グループ (1グループ2人以上、定員20名まで)  
会費：1人あたり1000円  
内容：①コミュニティデザインの基礎 (聞くこと・肯定することを学ぶ)  
②正しさと楽しさを見つつけよう ③プロジェクトをデザインする方法  
申込先：tinchantei@gmail.com 090-1864-5986 担当：鈴木啓佑

主催：シットルカン編集部 協力：おいでん・さんそんセンター

見つけなおそう旭の魅力 ほんとに旭を知ってるかな? 第14号/2020.03

## シットルカン?

shitterukan



### 特集 東萩平町に 移住者が増えた理由

28戸のうち10戸が、移住者世帯の東萩平町。  
なんでそんなに増えたの?  
移住者が多くなって町の雰囲気ってどうなの?  
素朴な疑問をぶつけてみました。

東萩平の移住者についてみた

磯村彰徳さん 堀内巖さん 長澤社平さん

お仕事ファイル

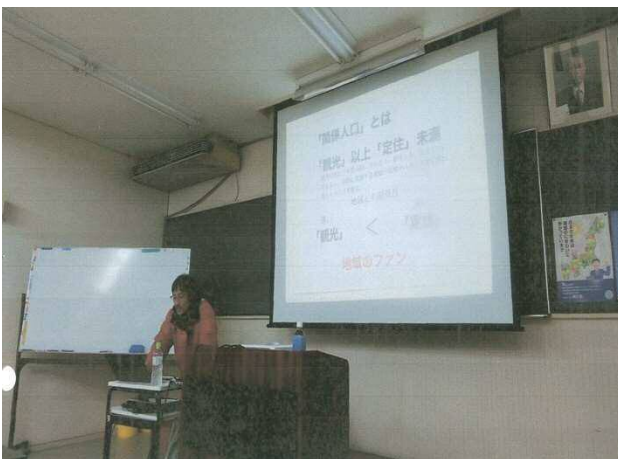
グループホーム日和  
安藤義文さん 沼高さん

シットルカンは、「知っていますか?」という意味の方言。豊田市旭地区の人や取材を取材し、地域の魅力を再発見するためのフリーペーパーです。あなたにとって新たな気づきがありますように。

令和元年度わくわく事業

7/28 市民活動講座を開催

シットルカン? 第14号/2020.03



2/25 まるごと旭会議「地域ブランディング」×「関係人口」

## 林育推進事業

**団体名：**あさひ根っ子の会  
**代表者：**林 富造（会員数5名）  
**補助回数：**4回目（R2 申請あり）  
**活動場所：**旭地区全域



### 事業の目的

戦後の林業政策により、森に触れ合う機会が無くなった。旭地区内の園児・児童・生徒を対象に体験学習として、林育活動の機会を提供する。

### 今年度の活動内容

こども園では年長組対象に竹馬づくりを、小渡小3、4年生の社会の学習で地域の浄水場巡りを、敷島小の3年生を除く全生徒の「ふるさと学習」に地域講師として活動を行いました。

今回、おいでん山村センターの仲介で「木の駅プロジェクト」と協力して、豊森なりわい塾の塾生対象に薪割り体験を実施しました。

森の豊かさや森林資源の活用を啓蒙するポスターと標語や木の駅プロジェクトのモリ券のデザイン画をこども園・小学校に募集した。たくさんの応募があり、旭まつり会場にて表彰式を行うことができた。

### 事業効果

- ・敷島小では4年間連続して森の健康診断を行うことができた。小渡小では3年間行ってきたが、複式学級になる関係で今年度未実施となった。来年の課題である。
- ・敷島小学校では、「ふるさと学習」に力を入れており、マイクロバスの用意、講師の紹介や派遣により、子ども達にとって大切な学習機会の保証となり、十分役割を果たした。
- ・おいでん山村センターとのつながりで、様々な研修会で活動内容の発表機会を得た。

### 補助金交付額と内訳（補助率 10 割）

**補助金交付額 261,000円**

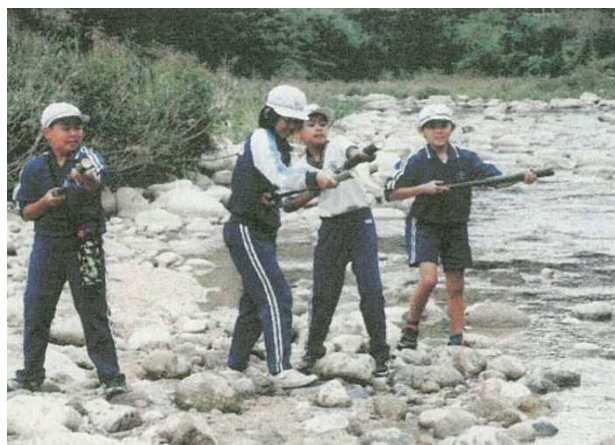
報償費（7,000円）、消耗品費（20,928円）、印刷製本費（9,980円）、  
使用料（223,740円）



## 林育推進事業 活動状況



森の健康診断



竹林整備の話と水鉄砲づくり



豊森塾生 薪割り体験

# ヤギとわくわくプロジェクト事業

団体名：ヤギ飼いの会

代表者：川合 美佳（会員数5名）

補助回数：2回目（R2 申請あり）

活動場所：旭地区全域



## 事業の目的

ヤギとの交流を通じて、子ども達にはやさしさ、命の大切さを学ぶ機会を。高齢者にはアニマルセラピー効果で生きがいづくりを。地域住民には、協力や交流を促進する場を提供する。また、ファーム設置作りを通じて繋がり作りや地域材の使用により山の幸を享受する。

## 今年度の活動内容

- ・ヤギとのふれあい活動を実施
- ・繋がりづくりとして、場の整備、ファームの設置
- ・ヤギの生態、飼育について勉強会を実施

## 事業効果

2年目ということで、昨年を経験を活かした活動ができ、認知度も広がり、各所で声をかけていただけるようになりました。

ヤギのふれあい体験では、子どもからお年寄りまで多くの方にヤギに触れ合ってもらいました。これをきっかけに地域や家族のことなど様々なお話を聞くことができました。

ふれあいファーム設置作業では、地域の間伐材を利用することにより、多勢で作成することで賑わい効果が創出され交流や集いの場づくりが活発に行えました。

## 補助金交付額と内訳（補助率 10 割）

**補助金交付額 426,000円**

報償費（54,000円）、消耗品費（90,985円）、使用料（108,000円）、  
原材料費（173,015円）



# ヤギとわくわくプロジェクト事業 活動状況

命ある動物を飼うということは、責任重大です。今年度は2回勉強会を行い、ヤギの生態、適正飼養、栄養管理、病気予防、  
（用方法など、豊田の山間地域で実際にヤギの飼育をしている「下山ワクワクファーム」さんにいろいろ教えてもらいました。

第1回 11月24日 in 下山ワクワクファーム



わくわく事業や自治区からの補助金で  
飼い始めたヤギが増え、今では10頭も！  
産まれたばかりの子ヤギも  
いました～

第2回 3月21日 in 榊野町のファーム



あそこから脱走しそう。  
もう少し補強してください。

## 勉強会

榊野町 代表者宅にて



お家からもってきた野菜  
食べてくれるかな？



《紙芝居＆ふれあい会》

地元の方が手づくりの紙芝居を見せてくれました～

11/7

## ヤギとのふれあい会



大人も小人も汗を流した1年



ヤギさん待ってるよ～～

## ファームづくり

# 福祉農業実践プロジェクト事業

団体名：メグ友会

代表者：林 錡（会員数23名）

補助回数：2回目（R2 申請あり）

活動場所：敷島自治区内



## 事業の目的

野菜作りを生きがいとして、日々暮らせる環境づくりによる健康促進  
能動的に健康を自ら維持促進するための基礎知識の習得及び身体機能訓練  
生きがいや健康づくりが共通する者同志のコミュニケーションの助長

## 今年度の活動内容

- ・健康講座…元気アップ教室5回（市地域保健課）、身体機能測定（足助病院）、認知症予防講座（めくもりの里）等を実施。
- ・野菜づくり講座…季節に合わせて野菜作りの技術を学んだ。
- ・共同による野菜作り…ソラマメの栽培を実施した。

## 事業効果

健康講座を受講することで、認知症の予防や、食生活の見直しによる骨粗しょう症や高血圧の予防の自覚が芽生えた。

野菜づくり講座では、基本的な技術を習得することによって作業の無駄を省くことができた。また、情報交換によりモチベーションが高まった。

共同での野菜作りでは、会員同士のコミュニケーションがとられ、楽しく作業ができるとともに、知識や情報の幅が広がり孤独感を払拭させ、ゆとりのある心の空間が形成され、精神面でのプラスは大きいものがあった。

## 補助金交付額と内訳（補助率9割）

**補助金交付額 198,000円**

報償費（90,000円）、食糧費（18,000円）、消耗品費（90,000円）



# 福祉農業実践プロジェクト事業 活動状況



元気アップ教室の様子



共同ほ場でのソラマメ栽培



塩度計による塩分測定

## 地域性を活かした景観向上事業

団体名：ビューティー惣田会

代表者：安藤 喜之（会員数15名）

補助回数：3回目（R2 申請なし）

活動場所：惣田町地内



### 事業の目的

自然に触れ合う場所づくり活動を通して世代間の交流を図る。  
会員と住民が取り組むことにより地域の連携を強化する。

### 今年度の活動内容

白桃、白ツバキ10本を植栽した。植栽本数は少ないが活着後の剪定と施肥等大変忙しかった。今年度はしだれ桃、レンギョウ、水仙が7割咲き、花の調和が取れた景色になった。

### 事業効果

令和元年度は、花が7割咲いたが、令和2年度は8割位咲くと思われる。  
木が成長して見栄えがよくなった。レンギョウも花を付けてきたので今後が楽しみである。

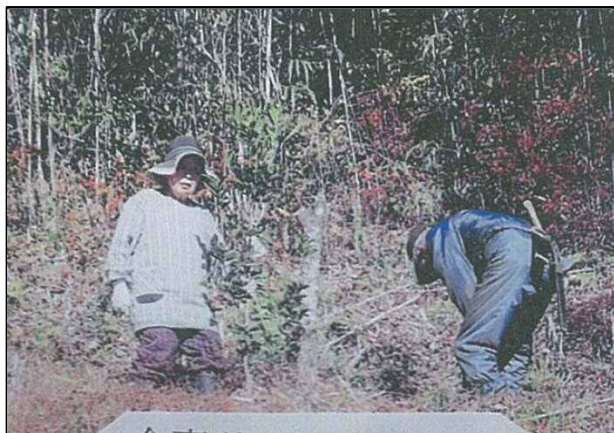
### 補助金交付額と内訳（補助率9割）

**補助金交付額 117,000円**

消耗品費（33,145円）、肥料代（38,880円）、材料費（12,150円）燃料費（17,204円）  
食料費（11,461円）、使用料（4,860円）



## 地域性を活かした景観向上事業 活動状況



しだれ桃植栽の様子



剪定作業と追肥



レンギョウとしだれ桃開花 (4月中旬)



愛知学泉大の学生が展望台用杭運搬



展望台通路案内杭打ち作業の様子



しだれ桃播種作業 100本

**【問合せ先】 お気軽にお問い合わせください**

豊田市役所 地域振興部 旭支所 地域振興担当

〒444-2892 豊田市小渡町船戸 15-1

電話 0565-68-2211 FAX 0565-68-3476

E-mail [asahi-shisho@city.toyota.aichi.jp](mailto:asahi-shisho@city.toyota.aichi.jp)

